

かぬま フラッシュ

KANUMA★FLASH



かぬまここにここにフェスタのオープニング。佐藤市長を囲んでハイチーズ！

楽しみもりだくさん

— かぬまここにここにフェスタ —

12月1日、市民情報センターで「かぬまここにここにフェスタ」が開催されました。

各フロアでは、ワークショップや人形劇、展示などのさまざまな催しを実施。工作コーナーで作った缶バッジや色紙のお弁当を手に大喜びする子どもたちに、保護者たちは目を細めました。

ベリーちゃん焼きなど飲食コーナーも充実。多くの来場者が、晴天に恵まれた冬の1日を満喫しました。



バスに乗ってどこ行こう？

— バスの乗り方教室 —

(県央地域公共交通利用促進協議会)

11月11日、板荷小学校の3、4年生を対象に「バスの乗り方教室」が行われました。

子どもの頃からバスなどの公共交通に慣れ親しんでもらうことを目的としたもので、学校に路線バスが登場し、バスの乗り方体験のほか、車いすでの乗車体験などバリアフリーについて学習。バスの仕組みに興味津々な子どもたちは、車両が動く歓声を上げていました。「また乗ってみたい」という声も多く聞かれ、みんなで楽しく学べる授業となりました。



おいしい新そばで復興の後押しを — チャリティー新そばまつり / 新そばのふるまい — (中・入粟野むらづくり推進協議会 / 鹿沼そば振興会)

11月3日、遊の郷直売所で、「チャリティー新そばまつり」が開催されました。台風第19号の被害を受け、毎年恒例のそばイベントをチャリティーとして実施。売上金は災害支援のために寄付されました。

また、11月13日・14日には、鹿沼そば振興会が、栗野コミュニティセンターで新そばの無料提供を行いました。被災地域への支援として実施されたもので、災害ボランティアや地域住民など多くの方が新そばを味わっていました。

豊かで安全な自然の努力 — 自然公園関係功労者環境大臣表彰 —

11月18日、自然公園関係功労者として環境大臣表彰を受賞した大塚益美さん(西鹿沼町)が、市長への報告に訪れました。

この表彰は、自然公園の保護とその適正な利用に関し、顕著な功績があった個人・団体に対して行われるもの。大塚さんは、昭和49年から前日光県立自然公園のハイキングコースの清掃やパトロールを行っており、公園の管理に尽力してきました。

「これからも活動を続けていきたい」と語った大塚さん。今後の活躍が期待されます。



鹿沼のいちごを召し上げれ — ローマ教皇へいちごを献上 —

11月23日のローマ教皇来日に合わせ、19日、佐藤市長がローマ教皇庁大使館にいちごを届けました。今回の献上は、5月に教皇に直接さつきの盆栽と鹿沼組子の衝立を贈呈したことをきっかけに実現したものです。特製の木箱に納められた「とちおとめ」を受け取ったジョセフ・チェノットゥ大使から、お礼とともに、台風第19号による被害を受けた市民を気遣い、お見舞いのことばをいただきました。

その後、大使館の担当者から、来日中だった教皇の食事の席にいちごが出されたとの連絡がありました。



秋の彩りフィナーレ — 屋台のまち中央公園 もみじまつり — (市観光物産協会)

11月23日～12月1日、屋台のまち中央公園で「もみじまつり」が開催され、日本庭園「掬翠園」で夜間のライトアップが行われました。真っ赤に色づいたモミジは、横根高原や大芦深谷に始まった本市の秋の彩りが南下し、ついにまちなかでフィナーレを迎えたかのよう。暗闇に浮かび上がる木々や灯籠が織りなす幻想的な風景に、訪れた人は足を止めて見入っていました。

